

## 調査報告4(1)

# シンガポール経営管理大学 (UniSIM: SIM University) を訪問して

中村学園大学 流通科学部

山 田 啓 一

2015年8月24日(月)午後2時に、Clementi Roadにあるシンガポール経営管理大学(UniSIM: SIM University、以下「UniSIM」)を訪問した。“SIM”は、“Singapore Institute of Management”の略である。入口で広報担当のシニア・マネジャーであるVera Lui氏に面会し、会議室に案内をしていただいた。筆者がそもそもUniSIMを知ったのは、台湾をベースとする国際学会BAI(Business and Information)2007年東京大会で筆者が座長(Session Chair)を行ったセッションでUniSIMのYeung Sze Kiu氏(商学院情報系統項目主任)がUniSIMの概要と新しい試みについて報告を行ったことに始まる。その後、2009年クアラルンプール大会でマレーシアに行った際にシンガポールに立ち寄り、UniSIMを訪問させていただいた。さらに2010北九州大会および2013札幌大会で前学部長で現在Vice Provost(助理副校長)であるHian Chye Koh(許賢才)教授とお会いした。とくに札幌大会では開会式で筆者の隣の席におられてしばらく談笑させていただいた。今回の訪問は、許教授のご協力により実現したことを付記しておきたい。

中村学園大学流通科学研究所の訪問メンバーは甲斐諭教授(学長、研究所長)、山田啓一教授(大学院流通科学研究科長、研究員)、浅岡由美教授(流通科学部学部長補佐、研究員)、朴晟材准教授(研究員)、徐涛准教授(研究員)の5名、先方のメンバーは、Cheong Hee Kiat(張起杰)教授(校長)、Tsui Kai Chong(徐継宗)教授(常務副校長)、Hian Chye Koh

(許賢才)教授(助理副校長)、Calvin Chan(陳明礼)教授(商学院副院長)、Ding Ding(丁玓)高級講師(商学院金融課程課程主任)の5名の方々であった。

面談にあたっては、まず中村学園大学および流通科学部、流通科学研究所の紹介および各メンバーの自己紹介(氏名、役職、専門分野、研究領域等)を行った後、UniSIM側のメンバーの自己紹介(同)およびUniSIMの概要の説明(許賢才教授)およびシンガポールの経済についての説明(丁玓高級講師)を行った。その後、両校の特色や教育上の問題等についてディスカッションを行い、貴重なご意見をいただいた。

以下、UniSIMの概要を紹介したい。

UniSIMは、シンガポール唯一の私立大学であり、社会人の学生が知識とスキルを身に付けてキャリアパスを向上させるための教育機関でもある。

### 1) プロフィール

名称 SIM University  
教育プログラム 60以上  
在学生 14,000名以上  
卒業生 25,000名以上  
常勤教員 100名以上  
非常勤教員 800名以上  
常勤職員 230名以上

### 2) 沿革

1992年 SIMは教育省(MOE)より英国のオープン大学と協力してオープン大学課程の設置を要請された。

2005年 SIMは教育省(MOE)より働く大

人のための私立大学を開学する許可を受けた。これによってシンガポールで最初のそして唯一の大人の学生のための大学として UniSIM が誕生した。

- 2006年 1月に最初の授業を開始。
- 2008年 政府による学士課程の適格者の授業料に対する最大40%の助成を導入。
- 2010年 私学教育のための評議会 (CPE: Council for Private Education) の6年間の登録を獲得。
- 2011年 政府の授業料に対する助成が55%に増加。
- 2012年 Lee Hsien Loong (李顯龍) 首相が、全日制の私立大学の数を増やすという政府の計画に UniSIM が参加するであろうと発表した。同時に、自治権のある大学においては、全日制の学生と同様に、定時制の学生についても政府の奨学金と買付金の対象となることを発表した。

### 3) ビジョン、使命、中核をなす価値観

UniSIM のビジョンは、「多様化する学びの必要性和要望に応えながら、生涯学習を通じた社会の活性化を図っていくこと」である。使命は、「学習者のよりよき将来に備えて独自に設計された学習経験を通じた生涯学習において卓越 (excellence) を作り出すこと」である。そして、中核をなす価値観すなわち精神は、①学びの精神 (Spirit of learning)、②秀でることへの情熱 (Passion for excellence)、③すべての行動の高潔さ (Integrity in all we do)、④個人への尊敬と信頼 (Respect and trust for the individual)、⑤リードすることのイノベーション (Innovation to lead)、⑥成功のためのチームワーク (Teamwork? for success?) である。

### 4) 教育課程

UniSIM の教育課程は、学士課程 (Under-

graduate Program) と大学院課程 (Graduate Program) に分かれ、学士課程はさらに、全日制課程と定時制課程の2つに分かれている。全日制課程は、政府資金による高校新卒者のための全日制課程である。この課程は、修了者に優等学士号 (Honours degree) を与えるもので、4年間で完了するが最長6年まで受講資格がある。定時制課程は、学士号 (Basic degree) を与え、また優等学士号につながる教育を提供する。受講期間は3年間であるが、最長8年まで在籍することができる。大学院課程は、「1年ベース」で学生を受け入れる。12か月修了者に修了証明 (Graduate diploma) を与え、24か月修了者に修士号を与える。

### 5) 学部 (正式には、「学院」と表記されている)

UniSIM は、芸術および社会科学 (Art & Social Sciences)、商学 (Business)、人間開発および社会サービス (Human Development & Social Services)、科学と技術 (Science & Technology) の4つの学院から成り立っている。

商学院では、学部 (undergraduate) プログラムと大学院 (graduate) プログラムから構成されている。学士課程では、①ビジネス、②ファイナンス、③ロジスティクスとサプライチェーンマネジメント、④マーケティング、⑤セキュリティ研究、⑥ビジュアル・コミュニケーション、となっている。

大学院課程においては、商学関係では、①経営管理修士 (Master of Business Administration)、②管理修士 (Master of Management) となっており、②は主として交通関係の管理を扱っている。

### 6) その他のプログラム

#### ①UniSIM-SAF プログラム

シンガポール空軍 (SAF: Singapore Air Force) の人材教育プログラムの一環として、大学を卒業していない空軍の隊員を対象として、学士課程レベルの教育を提供する。

シンガポール経営管理大学 (UniSIM: SIM University) を訪問して

## ②CET Modular プログラム

環境の変化の速い現在にあつて、継続的な教育と訓練 (CET: Continuing Education and Training) は職業上の知識と技能の更新を図つ

ていくうえで欠かすことができない。UniSIM は、キャリア向上を目指す人、最新の知識技能を身に着け維持したい人、個人的に成長を図りたい人などに、大学レベルの教育を提供する。

